


R S ウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンについて

令和8年4月1日からRSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンが定期接種となります。

RSウイルスは、小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスです。2歳までにほぼすべての乳幼児が少なくとも1回は感染し、特に生後6か月未満の新生児から乳児が感染すると重症化する場合がありますと言われています。

<p>【対象】 接種日に大仙市に住民登録のある妊娠28週0日～36週6日までの妊婦の方 (接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師に相談してください)</p>
<p>【接種回数】 妊娠ごとに1回</p>
<p>【接種料金】 無料</p>
<p>【接種場所】 県内協力医療機関 (別紙)</p>
<p>【ワクチンについて】 母子免疫ワクチン 組換えRSウイルスワクチン：アブリスボ® を使用します。妊娠中にRSウイルスワクチンを接種することで、胎盤を通じて赤ちゃんに抗体が移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。</p> <p>(接種に注意が必要な方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種によって妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告もあるため、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方 ・筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方 <p>※ワクチンの安全性、効果、副作用については、厚生労働省のホームページを参照ください。</p> 
<p>【健康被害救済制度】</p> <p>予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。</p> <p>接種を受けたご本人及び出生したお子さんが対象となります。</p> <p style="text-align: center;">＜申請先：健康増進センター：0187-62-9301＞</p>
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○接種する際は、事前に医療機関に予約のうえ、母子健康手帳と大仙市の予診票を記入し持参してください。 ○里帰り出産等で県外にて接種される場合は、ご連絡ください。 ○大仙市から転出した場合は、大仙市の予診票を使用できませんので、転出先の自治体にお問い合わせください。
<p>【問い合わせ先】</p> <p>こども未来部 こども家庭センター (健康福祉会館2階) 〒014-0027 大仙市大曲通町1番14号 電話：0187-73-6811</p>